

# メッセージ一覧

SCPI コマンド：省略表記 (short form) のコマンド名

\*RST：\*RST によって影響を受けるコマンドには○

R/W：クエリコマンド (R) / 設定コマンド (W)

## FETCh | READ | MEASure subsystem

SCPI コマンド		設定値		レスポンス	*RST	説明	R/W
プログラムヘッダ	パラメータ	単位	単位				
FETC[:SCAL]   READ[:SCAL]   MEAS[:SCAL]							
:CURR	:AC		A	NR3		電流値問い合わせ	R
	:AC:INTEG		AH	NR3, NR3		積算電流値問い合わせ	R
	:AMPL:MAX		A	NR3		電流のピーク問い合わせ	R
	:CRES			NR3		電流クレストファクタ問い合わせ	R
:VOLT	:AC		V	NR3		電圧問い合わせ	R
	:AMPL:MAX		V	NR3		電圧のピーク問い合わせ	R
	:CRES			NR3		電圧クレストファクタ問い合わせ	R
:POW	:AC[:REAL]		W	NR3		有効電力問い合わせ	R
	:AC:INTEG		WH	NR3, NR3		積算電力問い合わせ	R
	:AC:APP		VA	NR3		皮相電力問い合わせ	R
	:AC:REAC		VAR	NR3		無効電力問い合わせ	R
	:AC:PFAC			NR3		力率問い合わせ	R
	:AC:PHAS		DEG	NR3		位相角問い合わせ	R
:FREQ			HZ	NR3		周波数問い合わせ	R
:TIM:INTEG			HR, MIN, S, MS	NR3, NR3, NR3, NR3		積算時間問い合わせ	R

## SENSe subsystem

SCPI コマンド		設定値		デフォルト	レスポンス	*RST	説明	R/W	
プログラムヘッダ	パラメータ	単位	単位						
SENS:									
:CURR	:RANG[:UPP]	numeric	0.005 ~ 20		20	NR3	○	電流レンジ設定	R/W
	:RANG:AUTO	bool			ON	NR1	○	電流レンジのオートオン/オフ設定	R/W
	:SCAL[:STAT]	bool			OFF	NR1	○	電流スケーリングオン/オフ設定	R/W
	:SCAL:CTR	numeric	1 ~ 2000		1	NR3	○	スケーリング CT 比設定	R/W
:VOLT	:RANG[:UPP]	numeric	150, 300		300	NR3	○	電圧レンジ	R/W
	:RANG:AUTO	bool			ON	NR1	○	電圧レンジのオートオン/オフ設定	R/W
	:SCAL[:STAT]	bool			OFF	NR1	○	電圧スケーリングオン/オフ設定	R/W
	:SCAL:PTR	numeric	1 ~ 2000		1	NR3	○	スケーリング PT 比設定	R/W
:FILT	[:LINE:STAT]	bool			OFF	NR1	○	ローパスフィルタ設定	R/W
	:FREQ[:STAT]	bool			ON	NR1	○	周波数フィルタ設定	R/W
:AVER:COUN		numeric	1 ~ 64		1	NR3	○	アベレージ回数設定	R/W
:UPD:CYCL		numeric	0.1 ~ 10	S	0.1	NR3	○	パネル表示の更新設定	R/W
:SNYC		char	VOLT   CURR   OFF		VOLT	char	○	同期ソース設定	R/W

### INTEGrate subsystem

SCPI コマンド		設定値		デフォルト	レスポンス	*RST	説明	R/W
プログラムヘッダ	パラメータ	単位						
INTEG								
:STAR[:STAT]	bool				NR1		積算の開始と終了	R/W
:RES					NR1		積算結果のクリア	R/W
:TIM[:STAT]	bool			OFF	NR1	○	積算時間オン/オフ設定	R/W
:TIM:COUN	NR1,NR1,NR1	0,1,0 ~ 9999,59,0	HR,MIN,S	0,1,0	NR1,NR1,NR1	○	積算時間設定	R/W

### STATus subsystem

SCPI コマンド		設定値	レスポンス	説明	R/W
プログラムヘッダ	パラメータ				
STAT					
:OPER					
	[:EVEN]		NR1	イベント*1	R
	:COND		NR1	レジスタの状態*1	R
	:ENAB	NRf	0 ~ 32767	イネーブル*1	R/W
	:PTR	NRf	0 ~ 32767	ポジティブトランジション*1	R/W
	:NTR	NRf	0 ~ 32767	ネガティブトランジション*1	R/W
	:PRES			イネーブルレジスタの初期設定	W
:QUES					
	[:EVEN]		NR1	イベント*2	R
	:COND		NR1	レジスタの状態*2	R
	:ENAB	NRf	0 ~ 32767	イネーブル*2	R/W
	:PTR	NRf	0 ~ 32767	ポジティブトランジション*2	R/W
	:NTR	NRf	0 ~ 32767	ネガティブトランジション*2	R/W

\*1. OPERation ステータスレジスタ

\*2. QUEStionable ステータスレジスタ

### SYSTEM subsystem

SCPI コマンド		設定値	デフォルト	レスポンス	*RST	説明	R/W
プログラムヘッダ	パラメータ						
SYST							
	:ERR[:NEXT]			string		エラー情報読みとり	R
	:BACK					パネル情報とコンフィグ保存	W
	:KLOC	bool		OFF	NR1	パネル操作のロック	R/W
	:LOC					ローカルに設定	W
	:OPT			char		オプション問い合わせ	R
	:REM					操作をリモートに設定。LOCAL スイッチ以外のパネル操作のロック	W
	:RWL					操作をリモートに設定。パネル操作のロック	W
	:VERS					準拠する SCPI 仕様書バージョンの問い合わせ	R
	:COMM:TRAC	bool			NR1	通信エラー表示設定	R/W
	:DISP:HOLD	bool			NR1	表示値のホールド設定	R/W
	:DISP:CONT	NR1	1 ~ 4			ディスプレイ表示する値設定	R/W
		char	V A AHP AHN W VA VAR HZ WH WHP WHN TIM AH PA PV CFA CFV DEG PF	1:V 2:VA 3:A 4:W	char		R/W



### TRIGger subsystem

SCPI コマンド		設定値		デフォルト	レスポンス	*RST	説明	R/W
プログラムヘッダ	パラメータ		単位					
ABOR							すべてのシーケンスの動作中止	W
INIT								
[:IMM]								
	:NAME	char	ACQ				トリガ機能開始	W
	:SEQ1							W
:CONT								
	:NAME	char	ACQ			○	自動継続モードの設定	R/W
		bool		OFF	NR1			
	:SEQ1	bool		OFF	NR1	○		
TRIG[SEQ[1]]   TRIG[:ACQ]								
	:IMM						ソフトウェアトリガ	W
	:SOUR	char	IMM   BUS		IMM	char	○	トリガソース

### WAVE subsystem

SCPI コマンド		設定値	レスポンス	*RST	説明	R/W
プログラムヘッダ	パラメータ					
WAVE	NR3	1 ~ 16384	NR3_NR3, NR3_NR3, ...		波形データ問い合わせ	R

### IEEE488.2 共通コマンド

IEEE488.2 共通コマンド	パラメータ	説明	R/W
*CLS		すべてのイベントレジスタをクリアします。	W
*ESE	NR1	イベントステータスイネーブルレジスタビットを設定します。	R/W
*ESR		イベントステータスレジスタを問い合わせます。	R
*IDN		識別ストリングを問い合わせます（製造業者の情報）。	R
*OPC		待機中が検出された装置のすべての動作が終了すると、装置は操作完了メッセージをイベントステータスレジスタに生成します。	R/W
*OPT		装着されているオプションを問い合わせます	R
*PSC	0   1	*ESE と *SRE を初期化します。	R/W
*RST		装置のリセットを実行します。装置の使用履歴から独立した既知の状態に設定します。	W
*SRE	NR1	サービスリクエストイネーブルレジスタビットを設定します。	R/W
*STB		ステータスバイトとマスタサマリステータスビットを読み取ります。	R
*TRG		トリガコマンド	W
*TST		自己診断の実行	R
*WAI		待機中の動作なしフラグが「真」になるまで、装置が以降のコマンドやクエリを実行しないようにします。	W